

ほけんだより 3月

新座市立東北小学校
令和6年3月4日
養護教諭：泉田萌花

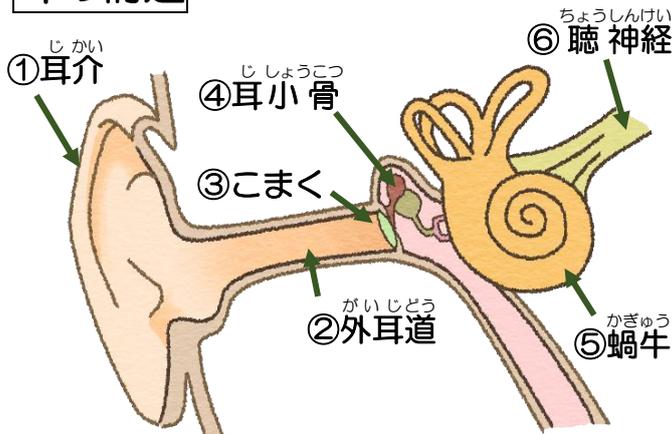
3月3日は「耳の日」

3月3日は、3の形が見えることと、語呂合わせから「耳の日」と言われるようになりました。耳には二つの役割があります。一つは「音をきくこと」です。人の耳は、外から見えている部分だけではなく、内側にもさまざまな器官があります。それぞれの器官が協力して音を脳が認識することで、私たちは音を感じることができます。

もう一つの役割は「体のバランスをとること」です。体の向きなどを把握しバランスをとる機能は平衡覚と呼ばれ、音と同じように、耳で感知されて脳に伝わっています。

耳は私たちの生活の中で大切な役割を果たしています。最近では、イヤホンやヘッドフォンの大音量での使用、長時間の使用により、耳の聞こえが悪くなっている人が増えています。音量や使用時間には注意して、時々耳を休める時間を作るようにしてください。

耳の構造



音がきこえるしくみ

がいじ 外耳	①耳介	音(空気の振動)をみつめる
	②外耳道	音の通り道
ちゅうじ 中耳	③こまく	空気の振動を耳小骨に伝える
	④耳小骨	振動を増幅させて内耳に伝える
ないじ 内耳	⑤蝸牛	中に入っている液体の振動を電気信号に変える
	⑥聴神経	電気信号を脳に伝える

子供に多い耳の病気…中耳炎

中耳炎には小学校に入学する前までに6～7割ほどの人がなると言われています。東北小の児童の中にも、中耳炎になったことのある人は多いと思います。

中耳炎は、耳に菌が入って炎症が起き、膿がたまることが原因で起こります。耳の痛みや発熱、耳から汁が出てくるなどの症状があります。子供は耳と鼻をつなぐ「耳管」が短く、鼻から耳に菌が入りやすいため、中耳炎になりやすいです。

鼻水をすすると耳に菌が入りやすく、中耳炎になってしまう可能性があるため、鼻は片方ずつ優しくかむようにしてください。



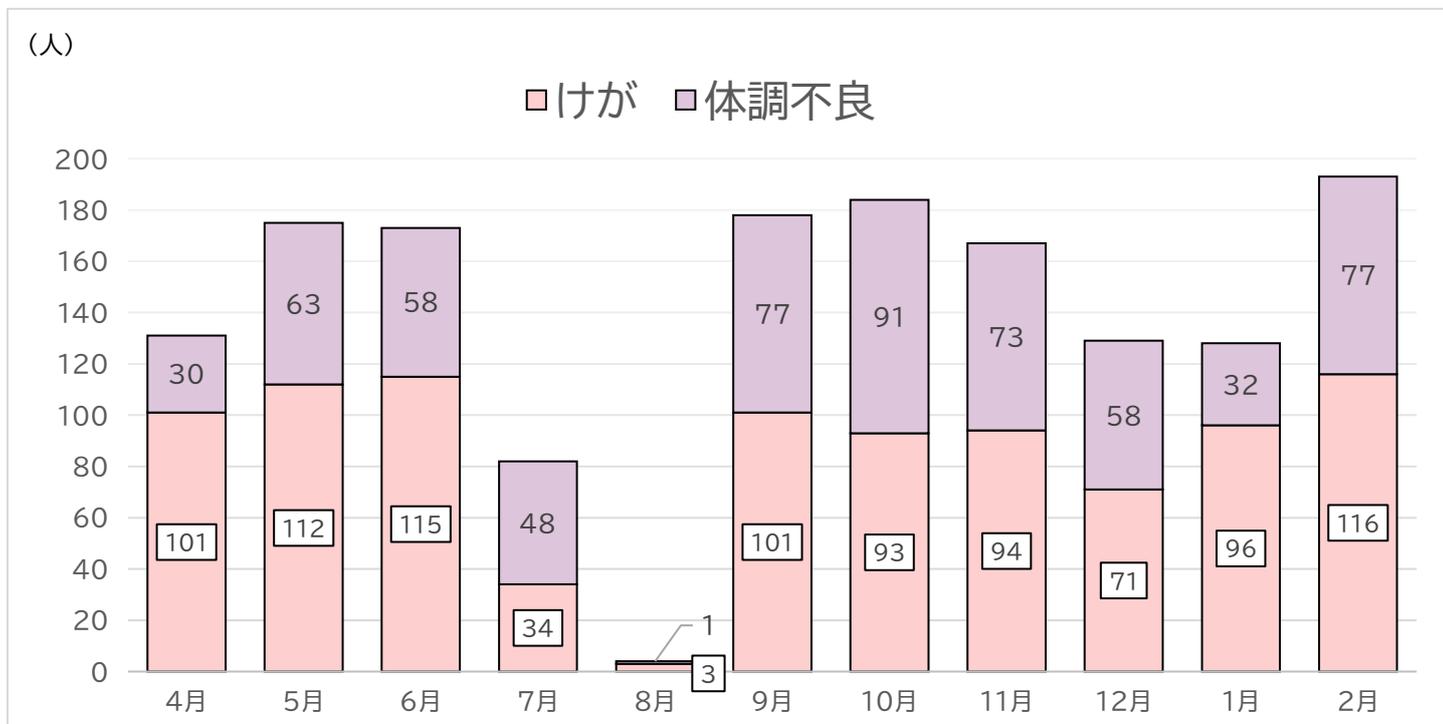


ねんかん ほけんしつ ようす 1年間の保健室の様子

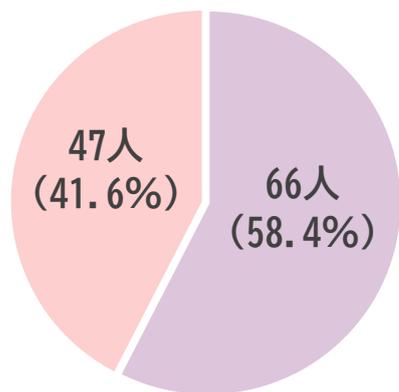


4月から2月までの間に合計1553名の児童が来室しました。今年の夏は記録的な猛暑のために体育や外遊びができない日が続きました。そのため、例年よりも7～9月はけがでの来室者が少なかったです。反対に、暑さでの体調不良者は増加しました。骨折など大きなけがもありましたが、けがや病気での救急搬送は現時点ではありません。

感染症については、新型コロナウイルス感染症の流行は落ち着いていたものの、インフルエンザが猛威を振るった一年でした。東北小では、10月・12月・2月の3回、大きな流行が見られました。インフルエンザによる学級閉鎖は計10クラスで行いました。一日に8人も発熱で早退した日もあり、急速に流行が拡大しているのを肌で感じました。来年度、どんな感染症が流行するかはまだわかりません。どの感染症でも予防の基本は手洗いと換気ですので、毎日心がけてください。



むし歯治療率(2月末まで)



■ 治療済み
■ 未治療

むし歯の治療率

一年間、むし歯の治療を全員受けることを目標に保健だよりで呼びかけてきました。結果は58.4%で、目標には届きませんでしたが、昨年(52.5%)よりも多くの人が治療に行くことができました。

来年度も5月ごろに歯科健診があります。むし歯があった人も、なかった人も春休み中に歯科医院で歯をみてもらい、歯の健康を保ちましょう。